



に た 党 公 認 決 定 仁田まさとし

2019年春 横浜市会議員選挙 南区選挙区に挑戦

来た！ 見た！ ニッタ！

皆さん！ 防災の準備はできていますか？ **裏面**に防災お役立ち情報

次の挑戦は…

- 1 地域を守る！ 防災・減災
- 2 ママに朗報！ 子育て支援
- 3 もっと減ります！ 小児医療費
- 4 人生100年時代！ ずっと現役社会

詳しくは、2面へ▶▶▶

ダントツ
の実績力

他と比べて下さい！

ホームページは
こちら



LINEは
こちら



防災・減災

- ◆防災・減災推進員の創設
- ◆防災ヘルメットの小学生への支給
- ◆地域防災拠点の資機材の見直し



高齢化対策

- ◆健康寿命延伸施策の推進
- ◆認知症サポーター養成の推進
- ◆「あんしん入居事業」の創設と拡充
- ◆家庭ごみの「ふれあい収集」の実施



子育て支援

- ◆保育・教育コンシェルジュの設置
- ◆子育て世代包括支援センターの展開
- ◆母子保健コーディネーターのモデル配置
- ◆小児医療費助成制度の対象年齢拡大
(2019年4月、中学3年まで拡大)



健康

- ◆アレルギーセンターの設置と拡充
- ◆救急電話相談の開設と拡充 (#7119)



私は、お約束を果たします



① 防災対策は、待ったなしの緊急課題！

北海道の地震など、災害に見舞われた2018年。「南海トラフ巨大地震」「首都直下地震」など“30年以内に大型地震が82%の確率で起きる”と想定されています。南区は、土砂災害警戒区域が市内で最も多い区(1km²当り)。防災対策は、待ったなしの課題です。有事に備え、「防災士」の資格を取得。これまで、避難場所の確保や自助・共助の呼び掛けを推進。また、危険ブロック塀の対策、防災・減災推進員の創設や防災拠点の資機材を見直しました。老朽化が進むまちの再構築、木造密集地域の不燃化推進、狭あい道路の避難経路など、公明党の国・県・市のネットワークを活かし課題に挑みます。



② ママにうれしい、子育て支援

母子保健コーディネーター、子育て世代包括支援センターを展開。保育・教育コンシェルジュも設置し、妊娠～出産～子育てまでをサポート。今後、妊娠期～学齢期までの「子ども家庭総合支援拠点」の設置を目指します。市内で最も公園面積が狭い南区(一人当たり)。公園の整備・管理の充実も図ります。



③ 子どもの医療費負担を軽減

2019年4月に、対象が中学3年まで広がります。公明党が横浜市会で初めて提案して以来、根気強く小児医療費助成を訴え、実現しました。今後、さらに全額助成、所得制限の緩和を要望します。



④ “人生100年時代”が来た

日本人の平均寿命(男性は81.09歳、女性は87.26歳)は過去最高を更新。何歳でも学び直し、新しいことに挑戦できる社会に。健康寿命延伸の取り組みや、認知症の総合的対策を推進。市内でも南区は、高齢者のひとり暮らしが増加傾向にあります。人生100年時代を見据え、シニアの経験が輝く、生涯現役社会へ。誰もが、いきいき暮らせる社会を目指します。



仁田まさとし プロフィール

【議会役職】
建築・都市整備・道路委員会委員、
減災対策推進特別委員会 副委員長
【党役職】
県本部幹事会会長、同 南支部長

昭和31年8月 横浜市南区に生まれる
50年3月 私立浅野高校卒業
54年3月 横浜国立大学工学部卒業

株式会社巴川製紙入社
電子情報通信学会会員、
画像電子学会論文編集委員を歴任

平成6年11月 株式会社巴川製紙退社
7年4月 横浜市議員に初当選
(現在6期目)

【モットー】
動く、創る、変える。



横浜市会公明党の実績

● 災害に強いまちづくり

- ◆ 「危険ブロック塀」改修へ補助金制度
- ◆ 内水ハザードマップ
- ◆ 公共建築物の耐震化
- ◆ 道路陥没防止のための路面下空洞調査
- ◆ 無電柱化の取り組みを加速
- ◆ 消火栓を活用した飲料水確保
- ◆ 災害用ダンボールベッド

● 子育てしやすい環境

- ◆ 放課後児童の居場所
「放課後キッズクラブ」
- ◆ 教室のエアコン設置とトイレ洋式化
- ◆ 通学路の安全確保

● 高齢社会への対応

- ◆ 地域包括ケアシステムの構築
- ◆ 「敬老パス」の継続
- ◆ 健康づくりと介護予防
- ◆ がん対策

● 国際平和に 貢献する横浜へ

- ◆ 核兵器のない世界の実現を
強く求める決議
- ◆ ヒバクシャ国際署名の実現

● その他

- ◆ 犯罪被害者相談室の開設
- ◆ 犯罪被害者支援条例の制定
- ◆ 周りの配慮を知らせる
「ヘルプマーク」の周知啓発
- ◆ LED防犯灯の設置



主な政策



市民の命と財産を守る

◆ 地震への対策を推進

民間建築物の耐震化、家具の転倒防止、感震(地震を感知する)ブレーカーの設置、ブロック塀の安全対策、緊急輸送路の整備、無電柱化の推進

◆ 集中豪雨等の風水害対策を強化

洪水・内水ハザードマップの更なる周知、防災無線・ラジオ・スマートフォンなどの多様な情報伝達体制の整備、河川改修・雨水貯留施設の整備、街路樹・看板等の点検・管理

◆ 防災意識の向上と地域防災力を推進

防災教育の充実、地域防災拠点の機能強化(学校体育館の空調、夜間照明整備)、在宅被災生活の支援、災害時ペット対策、がけ地工事、災害医療体制の充実

安心して子育てできる環境を

◆ 教育費の負担軽減を

幼児教育・保育の無償化、寄り添い型学習支援、私立高校授業料の無償化

◆ 子育て環境を充実

妊娠期から子育て家庭に寄り添う支援や地域子育て支援拠点の充実、待機児童ゼロ、放課後の居場所づくり、小児医療費助成の全額助成と所得制限の緩和・撤廃、通学路の安全確保

◆ 市立中学校での「横浜型給食」を実施

安価で栄養価に優れたデリバリー方式の横浜型給食を実施。横浜型給食を基本に中学校給食も

市民生活の安心を推進

◆ 高齢になっても安心して暮らせる社会を

在宅医療・介護の体制整備、敬老パスの継続、地域密着型特養ホーム増設、認知症対策、高齢者の孤立を防ぐ見守り、介護予防と健康づくりの推進

◆ 医療提供体制を整備

がん対策、依存症対策、アレルギー疾患対策

◆ 安全・安心の生活環境を

空き家対策の強化、鉄道可動式ホーム柵の設置促進、自転車安全対策、防犯カメラの設置

◆ 中小・小規模事業者への支援、地域の活性化に全力

人材確保と事業継承を支援。制度の周知徹底、訪問型相談事業の推進、情報入手から補助金申請までワンストップ窓口で安心相談

◆ ひとり親世帯や障がい者、困難を抱える若者や性的少数者等、誰も置き去りにしない社会を

乳幼児期から就労期までの発達障がい児・者支援、自立に向けた取り組みの推進、寄り添い型・伴走型支援の充実、SNSを活用した相談事業の推進

議会改革

◆ 透明性のある改革を断行

政務活動費領収証のインターネット公開、政務活動費10%削減、費用弁償の交通費実費清算

公明党横浜市会ニュース「VOICEよこはま」

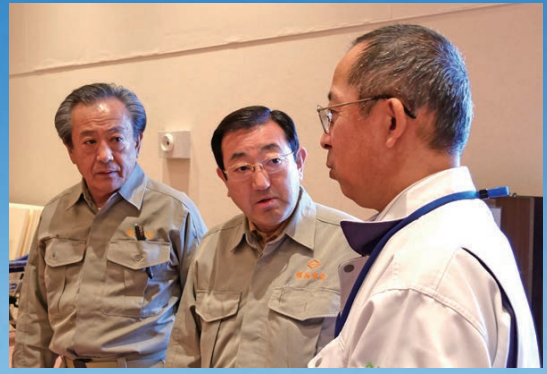
コチラから↓

<http://www.yhkomei.com/voice/voice.html>

アクション Action

北海道地震(胆振東部)の現地を視察

最大震度7を記録し、甚大な被害となった北海道胆振東部地震。2018年秋、札幌市清田区・厚真町・安平町を視察しました。地震の恐ろしさを目の当たりにし、改めて、防災・減災の思いを熱くしました。防災士として、南区のインフラ整備と共に、自助・共助の意識啓発に取り組みます。



上大岡駅前で「救援の会」(大滝正雄代表)の方々と

皆様の真心を被災地へ

2018年秋、北海道地震による被災者への募金活動を行いました。皆様から頂いた真心からの募金は、日本赤十字社神奈川支部に寄託され、被災地の皆様に確かに届けられました。

防災お役立ち情報 3・11を忘れない「防災・減災プロジェクト」

いざという時の「防災カード」

「防災カード」は、災害時や緊急時に取るべき行動が、わかりやすく記載されており、また、家族内での約束事などを記載しておける便利なカードです。

地震が起きたら！

- 身を守る ▶▶▶ 安全な場所へ ▶▶▶ 家族へ連絡

- 屋内の時：慌てて表に飛び出さない。頭を守る姿勢をとる。
- 屋外の時：路地や塀から離れる。むやみに移動しない。
- 車の時：急ブレーキは禁物。ゆっくり停車。
- 高齢者、妊婦や子どもの避難は助け合う。
- 安否確認は「災害用伝言ダイヤル171・各社伝言サービス」



※災害用伝言サービスは事前の登録を忘れずに

アプリを使って「気軽に防災訓練」

Androidの方はこちら

右のQRコードを読み取りダウンロードサイトからアプリをダウンロードしてください



iPhoneの方はこちら

右のQRコードを読み取りダウンロードサイトからアプリをダウンロードしてください



スマートフォンのアプリを用いて、緊急地震速報の専用ブザー音による報知をきっかけに対応行動をとる訓練ができます。